

# あい さと 愛の郷



愛の郷は、石川町にある事業所です。

就労支援B型  
で行っている  
額縁組立作  
業です。



就労支援B型、生活介護両方  
で行っているバリ取り作業です。  
自動車などの部品についている  
不要な部分を、手やニッパーで  
取っています。



生活介護の利用者用の浴室やお手洗いです。入浴サービスは毎日利用できます。

## <参加保護者の感想>

令和3年11月5日、PTA研修視察として、石川町にある多機能型事業所・愛の郷に伺わせて頂きました。

理事長である橋本裕美子さんよりお話を伺い、志や想いに大変感銘を受けました。愛の郷を立ち上げられたきっかけは、学校卒業後に肢体不自由の方の進路先がなく、あったとしても車椅子のまま放っておかれてしまうような施設が多いという現状があったからだそうです。

愛の郷を見学させて頂き、室内は全て優しい色で統一され、明るく、清掃が行き届いた清潔感のある所でした。生活介護と就労支援B型に分かれており、ゴム製品のバリ取りや箱折りの作業をされていました。生活介護の利用者さんも職員さんのサポートを受けながら、麻痺等障がいがあっても出来る限りの残存機能を活かし、工賃を頂ける作業を行っていらっしゃいました。肢体不自由や重度心身障がいがあっても、持っている能力を伸ばし生きがいを持って生活してもらいたいという思いから、利用者さんが作業し易いよう事前準備や傍でサポートする職員さんの姿勢に胸を打たれました。少しでも気分良く作業が捗るよう、ディズニーランドのDVDを流したり側に好きな絵本を開いておいたりといった細やかな気遣いも感じられました。定期的にイベントや外出・外食の機会があり、利用者さんはそういった事を励みに作業を頑張っているようです。

私たち保護者は、我が子の進路を心配し、親なき後の事を思うと不安でいっぱいになります。しかし今回の視察で、一人一人を大切に見てくださる事業所がある事を知りました。子供が卒業後社会と関わりを持ちながら、持っている可能性を伸ばし続け明るい生活が送れるよう、事業所見学を継続し進路を決めたいと思います。

さめがわ いえ  
鮫川たんぽぽの家



鮫川たんぽぽの家は、  
鮫川村にあります。



エゴマ油の検品  
やドレッシング  
のラベル貼りを  
行っています。



おいしい半生う  
どんの製造を行  
っています。



自然豊かな鮫川の大地で、おいしい野菜を作っています。

## <参加保護者の感想>

鮫川たんぼぼの家は、山に囲まれた静かな場所にありました。初めに見学させていただいたのは企業からの受託製品作りです。ディズニーランドやNTT等の袋作りや、鮫川村商工会と連携してエゴマ油の瓶のラベル貼り等も行っており、企業や地域と連携する流れができていました。

次に製麺部門を見学しました。工場では衛生管理ができる方を選んでいるとの説明でしたが、本当に作業工程のレベルが高くB型事業所の位置付けですがA型事業所のように思えました。うどんはテレビにも取り上げられ人気があるそうです。地元直売所での販売や、お中元・お歳暮等の発注も多く、利益は得られているとのことでした。設立当初は企業からの下請けが多かったのですが、利用者がいくつら頑張っても利益が少ないため、うどんやジャム等の独自の加工製品を作ることで経営が安定し収入も増えたそうです。ジャムに使用するいちごは農家から無料でいただき原材料費を抑えたり、じゅうねん加工品を県のコンクールに出品し金賞受賞をPRして販売に繋がれたり、運営の工夫も見られました。

最後は農耕部門の見学をし、施設から離れた山中に広い畑がありました。土地は使用しないと荒れてしまう理由から、土地の所有者が無料で貸してくれているそうです。これだけ広い畑を使用している事業所はあまりないと思います。豊かな自然の中で、利用者さんはのびのびと活動していたのが印象に残っています。

平成10年に利用者19名からスタートした施設ですが、現在は38名に増え、作業内容も利用者や社会のニーズに合わせて変化していました。今回は少ない人数での視察のためか利用者の緊張もなく、普段通りの姿が見られたように感じました。また、質問もたくさんでき充実した内容でした。職員の方も優しく、温かさを感じる事業所でした。